

教職大学院 NEWS



三重大学大学院教育学研究科 教職実践高度化専攻

第15号 H30.12月発行

連携協力校実習を終えて…

教職大学院の長期実習の1つである連携協力校実習は、自身の学修テーマに基づいて実習校を決定し、実習を行います。本実習では、学校の実践に責任を持って関わりながら、自らの学修テーマを多角的に捉え、また、学校実践現場の文脈や多様性を自覚し、学校実践現場との協働で行為と評価をしながら省察することを目的としています。本年度は、学校経営力開発コースの院生（現職教員学生）が10月～11月に約2週間の日程で実施し、教育実践力開発コースの院生（学部新卒生）は5月から毎週水曜日に実施しています。（日程については実習校と相談のうえ決定）津市教育委員会に大変お世話になり、津市内の小中学校13校に院生15名を受け入れていただきました。いずれの学校でも、実習に大変ご協力いただき、実習生にとって学びやすい環境を整えていただきました。院生は、実習を通して多くのことを学びました。例えば、現職教員学生は、自分の校種とは異なる実習校で、自分の担当教科の授業を観察したり、参加したりすることで、発達段階に応じた指導の工夫等について学びました。また、実習校の若手教員の授業等に関わることで、人材育成の重要性と難しさを感じた院生もいました。学部新卒学生は、半年以上同じ学校で実習をすることにより、教科指導のみならず、生徒指導や学級経営をはじめとする学校における教師の仕事の総体を知ることができました。院生たちは、本実習で学んだことを「実習成果報告書」にまとめ、自身の学修テーマについて深めることができました。

【今回お世話になった学校】 北立誠小学校、新町小学校、高茶屋小学校、安東小学校、一身田小学校、白塚小学校、西が丘小学校、南が丘小学校、成美小学校、橋北中学校、東橋内中学校、西橋内中学校、南が丘中学校

院生の感想紹介

実習校では、授業参観や先生方との意見交流、研修会への参加など、大変貴重な経験をさせていただきました。実習校では、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた学級づくり・授業づくりが行われており、UDの視点を取り入れた教育活動から全ての児童の学びを保障することの大切さを感じました。また、先生方と意見を交わしたり、研修で共に学んだりする中で、気付くことや学ぶことが多くあり、自身の学修テーマを深めることもできました。何より生き生きと学校生活を送る素敵な子どもたちに出会い、たくさんの元気をもらいました。2週間という短い期間でしたが、本当に充実した実習でした。

【学校経営力開発コース・田中 克哉】

津市内の中学校で実習をさせていただきました。生徒同士の協同的な学びができるようにコの字型や4人グループの机の配置で授業が行われていて、グループの話し合いを活発にする手立てや数学を面白く感じる教材、教具などの活用について学ぶことができました。困っている生徒に身を乗り出し説明したり、プリントに図をかいて説明したり、答えではなくヒントを言う生徒の姿を見て、グループの学びにより見せる生徒のいきいきした表情が印象的でした。実習で学んだことをいかし、教材研究に取り組み、楽しくわかる数学の授業づくりを追究していきたいです。**【学校経営力開発コース・前川 友彦】**

実習校の先生方のご協力で、全学年全学級の授業を見学することができました。小学校での丁寧な指導から学ぶことは多い。聞き方・発言の仕方の指導、細かく的確な指示、様々な視覚的支援、気が散らない環境の工夫等の大切さを実感した。教員の工夫ひとつで、子どもたちの姿は変わる。小学校の指導で大事にしていることを中学校で取り入れようとする視点を持ち、また、小学校で『何を学んでいるか』だけでなく『どのように学んでいるか』を理解し、中学校での教育活動を展開していきたいと思う。小学校での実習により、中学校での自分の指導や生徒の見方について振り返ることができ、教師のあり方についてもう一度見直すことができた。【学校経営力開発コース・大浦 亜紀】

私は、津市内の小学校で連携校実習を行いました。実習校では自身の学修テーマである「小学校における外国語教育」について、教材作りや授業実践をさせていただきました。また、給食指導や休み時間における担任の先生方の子ども達との関わりを見ることができました。これらの多岐にわたる経験から、小学校における外国語教育は、担任教師と子ども達との関係性が大きく影響することを学びました。さらに、半年以上の長期にわたって同じ小学校で実習を行うことができたため、子ども達の成長や変化についても気付くことができました。長期間お世話になり、先生方、子ども達には感謝の気持ちでいっぱいです。【教育実践力開発コース・吉川 和希】

私は、1年を通して合計18回の実習日がありました。一番印象に残った学びは、自分の学修テーマである音声指導の実践です。上手くできないとわかっていたことも全部私のやり方で挑戦させてもらって、今後につながる失敗をたくさんすることができました。そのほか、文法指導やリスニング指導、定期試験の採点、報告書の作成等、幅広く教師の仕事をさせていただきました。現場に入る前の心の準備ができました。今後は、やりきった達成感とできなかったことに対する悔しさをバネに、本当の教師として精進していこうと強く思いました。【教育実践力開発コース・二宮 眞帆】

2つの実習成果報告会を実施しました！

教職大学院の「中間報告会」として、11月29日に「東紀州実習成果報告会」を、12月6日に「連携協力校実習成果報告会」を行いました。一人一人の発表に対して、活発に質問や意見等が出され、持ち時間が足りないといった状況もありました。会場全体が、一人一人の学びを皆で共有し、さらに高めていこうという雰囲気になり、とても充実した発表会となりました。

院生たちは、本発表会での新たな気づきや学びをもとに、それぞれの学修テーマについて、今後、さらに深めていくことでしょう。



編集・発行 三重大学大学院教育学研究科 教職実践高度化専攻（教職大学院）広報担当

☎ 059-231-9319（学務担当）

〒 514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577

URL <http://mkd.edu.mie-u.ac.jp> (教職大学院専用 HP)



info-mkd@edu.mie-u.ac.jp